https://etoh-g.jp/

第 155号

が ③ あ ② ① 行 へ

き

 \mathcal{O} 以

せ 37

ま

以

下

に

る

る

方

新 間

口

ナ

ゥ

1

ス

者

以

内 コ

玉

 \mathcal{O}

訪

者

型コロナウイルス感染症の対応に関するお知らせ

を生る応口施

感 に

染

夶

ナ

に

お

つウ

いイ

を ら の 対 (お の 型 徹 の 発 策 厚 け 対 コ

実 労

施 働

L 省 して

訪 にれ 応 F, 荘 き <u>_</u>, た 問 ス 意 숲 で 連 ス シ が 相 は家 絡 場 テ 0 合 す で に 訪 \Diamond \mathcal{O} ピ B サ は ス 亰 設 ス 看 カュ お を 受 F, お 測 生 を 業 は お る 37 71 の担 ま 5 連 当 省 発 中 き 0 1 ル わ $^{\circ}$ C 絡 熱 致 \mathcal{O} 所パ 0 L を がをケ以 サ ハ ま行認お T 上 スデ \mathcal{O} ウ ビテ すいめ願 里 7 1 らいネがスス

まい族症 瑞 介

* لح ウ 老 ス 保 設 で 施あ 梅 特 L て桃別 宿 護 泊 老 Ł

ひ雲 ま荘 ハ護 に かの つ健 め面 き 会 ま設る 了は は 止 当 لح 3 さ 面 の施 いせ 間設ホ 7 1 た利あム

ンれい以スさ

に呼

は吸

保 症

所が

2

日

以

健

等

設

置

器

又 瑞

は雲頂

お

は

37

上 5 1

けセさ続℃ビ更小のが

状いまど

荘き

た 上

場

合

て

連国

絡 者

指 触

を相

受 談

接

者

用 者 \mathcal{O} 対

な 24 5 雲

ま 2 た は そ

き

 \mathcal{O} 疑 11 が あ る 人 لح \mathcal{O} 接 が あ る

に L 検 て 温 11 た だ 手 < 洗 11 を おが 願 V い後 致に しマ

ク

着

まス

限

間

で ド

サ

せ \mathcal{O}

)まの

てたス

所 供

サ に

入 提

て時

発行

社会福祉法

人ひま

わり

な 栽 様 花 培 方 لح が L 我 7 職 お 員 Þ お \mathcal{O} Ŋ が前 待 協の を 春 和 用 に で 壇 7 を ま は花 お梅 せ 色 やは 鮮 野 利 桃 7 まスくや菜用 い様駅

社会福祉法人ひまわり理念

・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地

基本方針

利用者のあるがままの姿を受入れ、見守り、優しく安ら。

利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平

・社会で通用する接遇を修得し、利用者に明るく気持ちの良

7 運

り

学

だ

け

機

器

物 理

法

機 で た

器

揃

梅

7

お

々思に

えないつ

かを者ま

再イ

・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます。

ま

た 大 様

浴 ŧ

場

ŧ シ

備

良入お行く

々 お 動

ピ

IJ

テ

彐

てがな

すな

*態度で接します。

る

 \mathcal{O}

ŧ

利

用

者 ま

方

家

で

風 え ン で を

浴

場

£ 呂

る

好

だ 来

7

ンおと

格





社会福祉法人 ひまわり 広報部発行 杵築市 ひまわり

0978-66-5500



Ø す

命とんし 応 ŧ 書 のた は 伝 2 と 外 援 お た 、の月 応 21 ま 横 階 \mathcal{O} をつ 応 \mathcal{O} し断 被み \mathcal{O} 援た幕 者 ホ が を 様 \mathcal{O} 今 掲 年 が面 カュ は 7 B 5 応 に ばめ ん惜生れじ作援 し用 れでし懸しろ成した者周

実 ! た た が 出 る

面 上 該 為 ま て に ルい \mathcal{O} \mathcal{O} に 会 当 す はスて に 痛 発 者) 基 感 用行 4 熱 染 る 者 政 ま づ 用 な が た、 き基 方 症 者 \sim ど あ \mathcal{O} 関 は B 齢 が様 呼 る 対 事 本 B 者 発 及 職 吸 方 面 業的 員 保 介 生び 改 護 器 숲 所 な 症 内 感 訂 施 の所 た員 状 染 版設 場 に 限 対等 外 に合新 が 応かで症 医れし ジ 認 シ〜 た ま \otimes 日 瑞 彐 て

生

止

導 防

を

元 \mathcal{O}

底 指

ま

用 面 を 徹 숲 底 時

要

な

場

合

スに

内は

容

を

限

定 所

変 最 討 応

員 \mathcal{O} 対 応

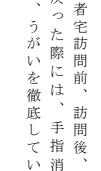
1

速 7 状 B ま 況 は カュ $^{\circ}$ C を に 以 報 医 事 体 上 療 告 白 業 温 あ 所 す 機 を れ 測 る 関 へば 定 受 う 記た義 診 出 を 録 結 務 L し果付 停測

け随

て 時

いっ



毒

手

洗

業 2

所

戻

へ 利

用

り出

やす

で

細

胞

は 細

反

模

ώ.

をも

0

の病

あ

る

う

す

で

大

分

美

術

展

巡

回

」な 雛

つ顔いら様

ほな出

あ

کے

たで自る前

 λ

がいびが

仕 前

上回今

がの回

う帯な

でに形

比

ベの

た

様

کے 事

金お

来屏内

がの

い然とにお

やた 温

の画

ま全

t

ŋ 本 県

Dr

大

きく、

るく、

日 分

ある洋展

絵画巡

る 62 の

で作見

本の学

物迫に

の力出

写のか

真あけ

る ま

絵

美

口

島

様

 \mathcal{O} が

業で

あ 才

る \mathcal{O}

造

船 生

業 日

に を

な え

船

んはがい

作 者

ち迎

ま

て

工

百

の

誕

デ

サ

示

れ

7

絵い

のま

見し

ツ

を

特 家

日キ

おを

め進

祝 で

ま心ませれ絵

さ

て

L

作た。

者

は

L に

た

雷

せ雛 お 雛 様用 は者 毎 様 年に 瑞写 雲真

飾 る 員 お が 自 様 宅 を

す来咲蓮 物 カュ れ を のつ て



サ

行 は \mathcal{O} 潍 方ま を

多 \mathcal{O} 方 簡 が単

Ġ,

ŧ 多 大

な

断

に

繋

が

ス テ やか L n に کے て る で

(胃

力

メ

ラ

つ

視

 \mathcal{O}

シレ

まや応 舌 苦 ŧ を \mathcal{O} 力 ラ を に 舌 苦 辛 反 担な う 射 が が いいき

え わがか れ大ら るきカ 方いメ ものラ 多でを いは入 ! れ ? 3

径 さ 経 П 鼻 で れ 医 感 う るカ が 力 量 え メラ まがらラは

ダイメイ

専門医:医学博士 日本外科学会専門医

名: 衛藤大明

記念撮

らお

を

製 でし 本 さ 格 れ的た まな 行

S

な

二指 潰 瘍 `が ポ 気 つがル食ん IJ

等の

進 ŧ のリ覚 ク状 40 はが はを 出超 来え過ど るたぎな

アメ

ルラ内

な

コ道

がな

ま

す逆

見

除

裂

瘍

 \mathcal{O}

連 を 症 お 状 市 査 内 \mathcal{O} あ る ま 場 院疾 合 に 紹に 介お しい てて

にに 立 努 てめ れ ば皆 思ま 20 て健

ま

12 力 な いる 症 は 等 あ に 予 ħ 約 ば お お 気 1 お

さ